





今夕高方板にすつ想心

と云ふは流石山名物生

此夕飯にてもさういふ除

くさし我れ昔昌くす年

種と信ゆふよれまにすゆ

勢に音者へはゆるを

不可粒予を給ら反て

可し向に揮て来に名西

帯へてあるはしきき力

臣に上院の権毎にす

民に我れ一本の命を

清く油衝に給ふ事何

平時の音流に撰来掛

名を招喚に充るる智

子ありかすかみま

と云ふはまに西の月

の影をたゆふ

二時

三月二十日午後

松本飯屋

阿三舟具人

大隈伯官



中子分共品物勢  
信④  
青大隈重信殿下







阿部具



梅香楼主人